

2 平成26年主要災害種類別被害概況

(1) 1月以降の降雪等による農作物被害

1月以降の降雪等により、ビニールハウスの倒壊による農作物の損傷等が発生し、被害面積は4,030ha、被害見込金額は198億円となった。

ア 気象概況

1月以降において、東日本では、1月下旬から2月はじめを除いて、寒気に覆われることが多く、平均気温が平年より低かった一方で、北・西日本では平年並みであった。

2月上旬と中旬にそれぞれ1度、低気圧が発達しながら日本の南岸を通過し、太平洋側では広い範囲で大雪となった。特に、2月14日から16日にかけては、関東甲信地方を中心に過去の最深積雪の記録を大幅に上回る記録的な大雪となった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、きゅうり等の野菜が158億円（被害総額の80%）と最も大きく、次いでゆり等のその他農作物が22億8,000万円（同12%）、ぶどう等の果樹が17億3,000万円（同9%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、群馬県が87億3,000万円（被害総額の44%）と最も大きく、次いで埼玉県が60億7,000万円（同31%）、栃木県が22億円（同11%）、山梨県が10億1,000万円（同5%）となった。

表1-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	4,030	1,850	54,400 13,200 千本 9,970 千鉢 18 千球	19,800	100	
麦 類	472	-	75	5	0	埼玉、千葉
野 菜	2,590	1,280	49,700	15,800	80	群馬、埼玉、栃木
果 樹	726	447	4,550	1,730	9	山梨、秋田、栃木
工 芸 農 作 物	19	2	8	3	0	山梨、京都、東京
そ の 他 農 作 物	220	118	1 13,200 千本 9,970 千鉢 18 千球	2,280	12	群馬、埼玉、栃木

- 注：1 被害面積欄に示されている「30%以上」は、被害量が平年（平均）収量の30%以上あった面積をいう（以下の各表において同じ。）。
- 2 その他農作物は、切り花類、種苗・苗木類等である（以下の各表において同じ。）。
- 3 被害量の単位は、切り花類及び種苗・苗木類は千本、鉢物類は千鉢、球根は千球、切り葉は千枚、それ以外の作物はtである（以下の各表において同じ。）。

(2) 梅雨前線に伴う6月上旬の降雨による農作物被害

梅雨前線に伴う6月上旬の降雨により、麦類の穂発芽等が発生し、被害面積は7,330ha、被害見込金額は19億2,000万円となった。

ア 気象概況

6月2日頃から6日頃の間、九州から東北北部にかけて梅雨入りした。6月2日から8日にかけて、低気圧が本州南岸をゆっくりと東進した。

6月上旬の降水量は、平年より、東日本太平洋側でかなり多く、北・西日本太平洋側で多かった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、二条大麦等の麦類が18億1,000万円（被害総額の94%）と最も大きく、次いでしょうが等の野菜が7,500万円（同4%）、水稻が1,700万円（同1%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、栃木県が16億6,000万円（被害総額の86%）と最も大きく、次いで茨城県が9,500万円（同5%）、群馬県が8,300万円（同4%）、宮崎県が3,400万円（同2%）となった。

表2-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	ha	30%以上 ha				
総 数	7,330	6,550	20,700 11 千鉢	1,920 100万円	100 %	
水 陸 稲	119	15	68	17	1	宮崎、埼玉、高知
麦 類	6,990	6,530	20,100	1,810	94	栃木、群馬、茨城
か ん し ょ	0	0	11	1	0	宮崎
雑 穀 ・ 豆 類	0	-	0	0	0	宮崎
野 菜	192	0	472	75	4	茨城、高知、宮崎
果 樹	0	-	0	0	0	宮崎
工 芸 農 作 物	4	-	19	3	0	群馬
飼 肥 料 作 物	31	9	55	8	0	宮崎
そ の 他 農 作 物	0	0	11 千鉢	0	0	宮崎

(3) 台風第8号及び梅雨前線に伴う大雨等による農作物被害

台風第8号及び梅雨前線に伴う大雨等により、浸水、冠水等が発生し、被害面積は28,700ha、被害見込金額は15億円となった。

ア 気象概況

台風第8号は、7月8日に沖縄県を通過し、7月10日に鹿児島県阿久根市付近に上陸した後、九州及び四国沖を通過し、和歌山県南部に再上陸した。その後、東海沖を東進して、7月11日に千葉県富津市付近に再々上陸し、関東の東の海上に抜けた。これに伴い、梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、北日本からの西日本にかけて局地的な大雨等が発生した。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、さとうきび等の工芸農作物が6億5,000万円（被害総額の43%）と最も大きく、次いでオクラ等の野菜が4億8,100万円（同32%）、マンゴー等の果樹が1億9,400万円（同13%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、沖縄県が9億3,100万円（被害総額の62%）と最も大きく、次いで鹿児島県が3億6,100万円（同24%）、山形県が1億円（同7%）となった。

表3-1 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総数	28,700	123	27,200 794 千本 53 千枚	1,500	100	
水陸稲	4,050	86	461	107	7	山形、沖縄、鹿児島
かんしょ	62	-	21	3	0	沖縄、鹿児島
雑穀・豆類	558	10	85	10	1	新潟、山形、鹿児島
野菜	1,010	13	1,490	481	32	沖縄、鹿児島、長崎
果樹	634	6	380	194	13	沖縄、愛媛、山形
工芸農作物	21,600	1	23,700	650	43	沖縄、鹿児島、長崎
飼肥料作物	827	4	1,100	17	1	鹿児島、山形、新潟
その他農作物	11	3	794 千本 53 千枚	36	2	山形、鹿児島、沖縄

(4) 台風第12号、第11号及び前線に伴う大雨等による農作物被害

台風第12号、第11号及び前線に伴う大雨等により、浸水、冠水等が発生し、被害面積は35,000ha、被害見込金額は33億8,000万円となった。

ア 気象概況

台風第12号は、8月1日に鹿児島県徳之島の西北西を通過し、東シナ海を北進した。これに伴い、南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、四国地方の太平洋側では8月1日から5日までの総降水量が1,000mmを超えた。

また、台風第11号は、8月10日に高知県安芸市に上陸し、同日に兵庫県赤穂市に再上陸した後、日本海に抜けて北進した。これに伴い、沖縄・奄美及び西日本で暴風雨となり、四国地方から東海地方にかけて、8月7日から11日までの総降水量が500mmから1,000mmとなるなど大雨となった地域があった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、しょうが等の野菜が13億1,000万円（被害総額の39%）と最も大きく、次いで水稻が7億9,100万円（同23%）、さとうきび等の工芸農作物が5億6,200万円（同17%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、高知県が9億4,400万円（被害総額の28%）と最も大きく、次いで徳島県が6億6,600万円（同20%）、新潟県が4億4,400万円（同13%）となった。

表4-1 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総数	35,000	962	32,800 1,440 千本 13 千鉢	3,380	100	
水陸稲	16,000	450	3,260	791	23	新潟、徳島、高知
麦類	79	14	37	2	0	北海道
かんしょ	170	-	41	11	0	徳島、京都
雑穀・豆類	2,020	274	429	83	2	北海道、三重、兵庫
野菜	1,820	93	4,010	1,310	39	高知、徳島、北海道
果樹	3,650	21	1,790	493	15	高知、徳島、長野
工芸農作物	10,200	87	21,700	562	17	沖縄、鹿児島、岩手
飼肥料作物	1,030	20	1,560	13	0	北海道、兵庫、香川
その他農作物	7	3	1,440 千本 13 千鉢	108	3	徳島、高知、愛媛

(5) 台風第18号による農作物被害

台風第18号に伴う大雨等により、浸水、冠水等が発生し、被害面積は24,500ha、被害見込金額は14億円となった。

ア 気象概況

台風第18号は、10月4日に沖縄県大東島地方に最接近した後、10月5日に鹿児島県奄美地方に接近し、本州南岸を北東方向に進んだ。その後、10月6日に静岡県浜松市付近に上陸した後、東海地方から関東地方を通過し、茨城県から東の海上に抜けた。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、さとうきび等の工芸農作物が6億400万円（被害総額の43%）と最も大きく、次いでキャベツ等の野菜が4億400万円（同29%）、そば等の雑穀・豆類が1億2,700万円（同9%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、鹿児島県が6億4,400万円（被害総額の46%）と最も大きく、次いで茨城県が2億300万円（同15%）、静岡県が1億2,400万円（同9%）となった。

表5-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	ha	30%以上 ha				
総 数	24,500	356	32,300 877 千本	1,400	100	
水 陸 稲	2,460	28	440	106	8	宮崎、静岡、鹿児島
か ん し ょ	938	0	599	33	2	鹿児島、静岡、東京
雑 穀 ・ 豆 類	4,500	245	522	127	9	茨城、静岡、岡山
野 菜	3,220	80	3,380	404	29	茨城、千葉、静岡
果 樹	1,480	1	432	96	7	鹿児島、和歌山、静岡
工 芸 農 作 物	11,400	1	26,600	604	43	鹿児島、沖縄、静岡
飼 肥 料 作 物	514	-	263	3	0	宮崎、鹿児島
そ の 他 農 作 物	18	1	877 千本	30	2	千葉、鹿児島、静岡

(6) 台風第19号による農作物被害

台風第19号に伴う大雨等により、浸水、冠水等が発生し、被害面積は34,600ha、被害見込金額は20億6,000万円となった。

ア 気象概況

台風第19号は、10月11日から12日にかけて沖縄本島付近を通過した後、10月13日に鹿児島県枕崎市付近に上陸し、その後、高知県宿毛市付近及び大阪府岸和田市付近にそれぞれ上陸して東進し、10月14日に東北南部から東の海上に抜けた。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、さとうきび等の工芸農作物が10億8,000万円（被害総額の52%）と最も大きく、次いでだいこん等の野菜が4億3,400万円（同21%）、きく等のその他農作物が1億5,400万円（同7%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、鹿児島県が12億8,000万円（被害総額の62%）と最も大きく、次いで沖縄県が4億6,300万円（同22%）、宮崎県が1億6,900万円（同8%）となった。

表6-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額 100万円	構 成 比 %	主 な 被 害 地 域
	ha	30%以上 ha				
総 数	34,600	203	55,100 5,020 千本 132 千枚	2,060	100	
水 陸 稲	4,770	-	556	134	7	宮崎、鹿児島、長崎
か ん し ょ	2,000	-	1,830	104	5	鹿児島、沖縄、京都
雑 穀 ・ 豆 類	1,930	44	164	43	2	岡山、茨城、宮城
野 菜	3,040	100	3,360	434	21	鹿児島、沖縄、宮崎
果 樹	1,600	4	442	99	5	鹿児島、沖縄、愛知
工 芸 農 作 物	20,200	20	48,200	1,080	52	鹿児島、沖縄、香川
飼 肥 料 作 物	551	27	533	5	0	鹿児島、宮崎
そ の 他 農 作 物	432	8	5,020 千本 132 千枚	154	7	沖縄、鹿児島、香川